

一般的な電気製品の節電ポイント



照明

- 不要な照明をできるだけ消しましょう。
- 照明のかさやカバーをこまめに掃除しましょう。



冷蔵庫

- 冷蔵庫の設定を控えめ（「弱」等）にしましょう。（食品の傷みにご注意ください。）

テレビ

- 画面の輝度を下げましょう。
- 必要な以外は消しましょう。



待機電力

- リモコンの電源ではなく本体の主電源を切り、長時間使わない機器はプラグをコンセントから抜きましょう。



温水便座

- 便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉めましょう。

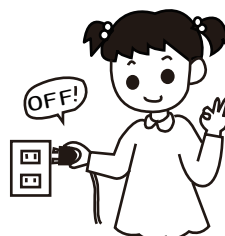


暖房機全般

- 室内の温度設定は 20℃。寒さを感じたら厚着をしましょう。
- 外出時、就寝時、人がいない部屋の暖房は無理のない範囲で控えましょう。

みんなで 今年の冬は節電アクション!!

■問合せ 環境課 ☎74 - 3006



■期 間 平成25年 12月9日(月) ~

平成26年 3月7日(金) 平日16時~21時

・12月30日(月)~1月3日(金)を除く

■節電目標 6%以上

◆各家庭では冬の19時に平均で、約1,000Wの電力を消費しており、照明、冷蔵庫、テレビで約4割以上を占めています。

◆事業所の皆さんへ……暖房、照明、空調、OA機器、冷凍冷蔵庫などの節電が非常に効果的なため、各事業所でもご協力をお願いします。

◆各公共施設でも、節電に取り組んでいます

★高齢者や乳幼児などがいる家庭などは、無理な節電はしないでください。

節電に ご協力を!

経 済産業省総合資源エネルギー調査会基本政策分科会の「電力需給検証小委員会」が、

11月1日2013年度冬季の電力需給対策を決定しました。

北海道の今年の冬の電力需給は、厳寒であった2010年度並みの厳寒となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着など織り込んだ上で、電力安定供給に最低限必要な予備率3%以上を確保できる見通しです。

一方これから暖房需要のピークを迎える中で、他電力からの融通に制約があり、発電所一機のトラブル停止が予備率に与える影響が大きく、厳寒期の受給逼迫が住民の生命と安全を脅かす可能性がある北海道の特殊性から、電源脱落リスクへの対応が必要となります。

同小委員会では、冬季間6%の節電目標を設定し、協力を要請しています。計画停電を含む停電を回避するためにも改めて節電をお願いします。